

4/28 [火]

THE SANKEI SHIMBUN  
産業経済新聞(サンケイ)  
発行所 (株)産業経済新聞社本社 〒100-0077 東京都千代田区大手町一丁目二番地  
東京 (03)3231-7111(代表番号)



# 大手の参入は「チャンス」

を使っているそうです。『丸洗いを思いついた平成五年は環境基本法が成立した年。使用後の薬液が地球環境に影響を与えるようではいけないし、それでは商売にならないと思いまして。またエアコンクリーニング用の薬液は以前から何社かが売り出していたのですが、苦性ソーダ(水酸化ナトリウム)を使ってるため、手荒れはひどくなる機械が損傷してしまう可能性もありました』

『どのように問題を解決していくのですか』

『既存の薬液を使うことで、手荒れはひどくなるので、自ら開発することになりました。洗浄用の薬液のノウハウを持つスッキ工場に行って改良を重ねまし

た。その結果、薬液を中性にして、苦性ソーダの量などを調整して、洗浄力が強いにもかかわらず、人や機械、環境に優しい薬液を開発できました』

(メモ) 設立 平成元年 主な事業内容  
電気製品の小売業・資本金 1千2百万円  
従業員数 6人 ▶売上高 9千万円(平成9年度)  
所在地 船橋市二和西5ノ3 10  
(804-7449-3717)

# マイ WAY

事業のきっかけは、客のふとしたつぶやきだった。「エアコン丸洗い」装置の開発・実用化に成功した電化製品小売業「ビッグデンキ」。大手量販店やディスカウントショッピングが攻勢をかけるなか、いまでは加盟店数70のボランタリーチェーンを展

開するまでに成長した。昨年末には、県の中小企業活動促進法に基づく研究開発などの事業計画認定企業に選定された同社の西村直人社長(52)に、開発秘話や現況について聞いた。

(豊吉広英)

## ビッグデンキ社長

## 西村直人さん

――「エアコン丸洗い」はチャンスだとも思つ始めたきっかけは――  
「平成四年にお客さまから『エアコンが臭い』と言つられたのがきっかけです。その翌年は冷夏でエアコンが売れず、どうしようかと、特許を申請する弁理士が思つていて、とき、この言葉が思つていていたのです」

――しかし思わず敵が思ついたちょうど同じ時期に大手がエアコンクリーニングを始めました。しかし、やられたと同時に『こ

の先生を紹介してもらいました。試行錯誤を繰り返しながら、エアコン丸洗い装置の第一号が完成したのが平成七年のことです。洗浄用の薬液にも気

## 穏やかなネットワークに…

して帰つて来るのではダメで、本当にきれいにすることができるに満足してもらつたための演出をしなければなりません。また、料金は一般家庭用で一万八千円から、大手企業と同じに設定しています。料金は同じで倍を取ることがわれわれのテーマ。おかげさまでビーターは非常に多くなっています』

『事業展開を行つていますが、自分だけで普及させようと思うても無理があるので、平成八年からACB(エアコンクリーニングビジネス)協会というボランタリーチェーンを開設しています。加盟店を募つてエアコン丸洗い事業を全国展開しており、現在七十社が加盟しています。ACB協会としてこれまでに八千件のエアコンを清掃してきました。締め付けのない、緩やかなネットワークをオブンに広げていきたいと思つています』